

令和3年10月1日

令和3年度フォーラム事業

パンデミック、大規模災害に対応する次世代医工学融合フォーラム

1. 趣旨

現在、新型コロナウイルスの蔓延により、医療・看護の現場では過重ともいえる負担の下で対応が続いており、また、世界中の生活様式も大きな変化を余儀なくされている。

更に、新型コロナウイルスの終息までには期間を要することも予想されるとともに、新たなウイルスの登場、パンデミックの再来も否定できない。

こういった状況に対応するため医療機器、看護・介護機器、それらに関するシステム、更には医療・社会制度などにも抜本的な変革が求められている。

本フォーラムでは、このようにウィズ・ウイルスが常態化する時代を視野に入れ、広義の医用生体工学研究者を集めて学会の枠を超えた議論を行うことにより、時々刻々変化する足元の新型コロナウイルスの状況を踏まえた上で、パンデミックや災害など短期間に大勢の患者が発生する危機時に対応する医療機器、看護・介護機器、システムと医療・社会制度の在り方を機械システムの観点から探求することを目的とする。

2. 成果

詳細な報告書は作成しないが、議論の概要をまとめたレポートを作成する。また、議論の結果次第で、新規調査プロジェクト構想の考案、社会・行政への提言を行うことも検討する。

3. フォーラムのメンバー（16名）

委員長 生田 幸士 東京大学・名古屋大学 名誉教授
大阪大学医学部 招聘教授
立命館大学総合科学技術研究機構 教授

副委員長 石原 謙 愛媛大学大学院医学系研究科医療情報学 名誉教授

委員 奥山 雅則 大阪大学 名誉教授
同ナノサイエンスデザイン教育研究センター 招聘教授

橋爪 誠 九州大学医学部 名誉教授
北九州古賀病院 院長

福田 幾夫 弘前大学医学部 名誉教授 大阪大学医学部 招聘教授
吹田徳洲会病院 心臓血管センター長

大野ゆう子 大阪大学医学系研究科 名誉教授
大阪大学基礎工学研究科 特任教授

吐師 道子 県立広島大学 名誉教授

長倉 俊明 大阪電気通信大学医療健康科学部医療科学科 教授

塚越 秀行 東京工業大学工学院システム制御系 教授

岡崎 利彦 大阪大学医学部附属病院未来医療開発部未来医療センター
特任准教授

多田隈建二郎 東北大学大学院情報科学研究科 准教授

村山 嘉延 日本大学工学部電気電子工学科 准教授

上出 寛子 名古屋大学 特任准教授

池内 真志 東京医科歯科大学 生体材料工学研究所 生体機能修復研究部門
バイオデザイン分野 教授

井上 佳則 立命館大学 客員准教授
大阪大学医学部 招聘教員

相澤 徹 機械システム振興協会 専務理事

以上